

第 162 回 東葛しぜん観察会

みつけよう！ わたしの秋の七草

西池 光（野田市）

日 時：2019 年 9 月 29 日（日）10 時～14 時 30 分 天気：曇り

場 所：利根運河（右岸）～理窓会自然公園（野田市）

参加者：一般 36 名（内 子ども 3 名）、指導員 16 名

担当指導員：渋谷孝子・鈴木とし子・西池 光

観察会の時は、いつも天気悩まされる。当日は、日差しもあり、蒸し暑かった。

利根運河は草刈り後のため、植物等が少ない。それでも、ツルボ・ヒガンバナは元気に生長していた。また、運河の水辺付近にはカルガモがゆったりと泳いでいた。

理窓公園。入り口でメタセコイアがお出迎え。ひととき高く、均整のとれた樹形は一度見たら忘れない。アキノノゲシ・ツユクサ・コセンダングサ・イヌタデなど、幼い頃から見てきた野の花に続き、キツネノマゴ・ミズヒキ・ミズタマソウ・ヘクソカズラなどを観察。ミズヒキは上から見るか下から見るかでずいぶん違う。

小径へと入る。はじめは落葉樹と針葉樹が混在した林。野の花の代わりに林床に茶・白・赤など色とりどりのキノコが見られた。食べられそうなものもあった。

ひょうたん池の辺りで、草原となる。この辺から秋の花の密集地帯。アキカラマツ・ツリガネニンジン・シラヤマギク・ヤマハギ・ヤマハッカ・ヒヨドリバナ・ヒメキンミズヒキ・イヌコウジュ・ナンテンハギ・ノハラアザミ・ゲンノショウコ・センボンヤリ（この時季は閉鎖花。）。秋の野の花は、かわいいものもあるが、全体としては小さめでひっそりと咲いているような感じの花が多いように思う。

クズは 9 日前までは赤紫色の花が咲いていたのだが、残念ながらこの日には終わっていた。クズの繊維を使って織った布を指導員の方が見せて説明をしてくださった。葛から葛布ができ、帯やふすまを作ったりするそうだ。

調整池辺りでアオサギを見ることができた。カワセミの声も聞こえた。参加者の方が「カワセミ、見たかった。」と残念がっていた。いつもはモズの声がよく聞こえるのだが、今日はあまり聞こえなくて参加者に伝えられず残念だ。

昼食後、「わたしの秋の七草」を選んでもらう。ツリガネニンジン・ツルボ・ツユクサ・ナンテンハギ・ヤマハッカ・ワレモコウ・クズが多かった。かわいい・きれい・印象深い野草が選ばれているようだ。

参加者からは、「きれいな野草がたくさん見られてよかった。少しでも多く名前を覚えて帰りたい。」「これから足下の花を見つけるのが楽しみ」「未知の森への期待は大きく、足を踏み入れることができ大変感動しました。」などの声が聞かれた。

今日は、お見せしたい野の花が次から次へと出てきたので、ゆっくり観察していただけなかったが、多くの方に参加してよかった、と感じていただけたようで、安堵している。



イヌタデ(アカマンマ)の花の説明